iPad アプリ作成ツール jppbook 仕様書一覧

1、ページ物の PDF を貼り込む

jppbook (Pdf2iPad 改め) は、iPad 用のリッチコンテンツを作成する Xcode のテンプレートです。jppbook はバックにページ物の PDF を貼り込むことで iPhone アプリを作成します。PDF は iPad の左右に合わせて表示します。PDF は Xcode 内の「document.pdf」を差し替えて貼り込みます。

□ PDF は左右に合わせたサイズで変	音して貼り込む
□ 画像化する解像度は iPad の 768	× 1024 ピクセル
□ 天に合わせて表示し、地方向はスク	ロールして表示
□ 貼り込む PDF は左右にバウンドせ	ずに地方向のみにスクロールする
□ PDF がスクロールするときは右サー	イドにバーを表示する
□ スクロールがあるときのバーは表示	した後消滅する
□ 横回転しても同じように左右に合わ	せたサイズで表示する
* 貼り込む PDF が小さい場合、横幅が 768 ピーニー 示します。 PDF が大きい場合、元のピクセルサイズ なるように縮小表示します。 元の PDF が小さい場合	のまま画像に変換し、横幅が 768 ピクセルに –

2、画像をスクロールさせて貼り込む(上下スクロール型)

画像を別ウィンドウで表示する方法です。1つの縦長の画像を貼り込む場合、左右に合わせて変倍して貼り込ます。天を基準に地方向にスクロールして表示します。上下スクロール型の CSV でページと位置とボックスサイズ、ファイル名を指定します。

□ ページと座標位置とボックスと画像ファイルを指定する	
□ 画像は左右に合わせたサイズで変倍して貼り込む	
□ 天に合わせて表示し、地方向はスクロールして表示	
□ 貼り込む画像は地方向のみにスクロールする	
□ 貼り込み画像はスクロールする方向のみに動きバウンドした	ない
□ 座標位置は縦置きサイズで指定する	
□ 画像が横スクロールするときは下サイドにバーを表示する	
□ スクロールがあるときのバーは表示した後消滅する	
□ 横置きにしたときボックスサイズを 1.33 倍し比率を保つ	
□ 座標位置はシミュレータでは色つきで表示し、実機では透明	明にする
	 う操作)してスク

3、画像をスクロールさせて貼り込む(フリック型)

複数の画像を1つのウィンドウで表示させるオプションです。フリック(画面を軽く払う操作)すると、次の画像が表示します。上下スクロール型とは別の CSV ファイルで指定します。ページと位置とボックスサイズ、複数の画像ファイル名を指定します。

 □ ページと座標位置とボックスと画像ファイルを指定する □ 画像はウィンドウの天地に合わせたサイズで変倍して貼り込む □ 左に合わせて表示し、右方向はフリックして表示 □ フリックすると次の画像を表示して止まる □ 貼り込み画像はスクロールする方向のみに動きバウンドしない □ 座標位置は縦置きサイズで指定する □ 画像が縦スクロールするときは右サイドにバーを表示する □ スクロールがあるときのバーは表示した後消滅する □ 横置きにしたときボックスサイズを 1.33 倍し比率を保つ
 □ 左に合わせて表示し、右方向はフリックして表示 □ フリックすると次の画像を表示して止まる □ 貼り込み画像はスクロールする方向のみに動きバウンドしない □ 座標位置は縦置きサイズで指定する □ 画像が縦スクロールするときは右サイドにバーを表示する □ スクロールがあるときのバーは表示した後消滅する □ 横置きにしたときボックスサイズを 1.33 倍し比率を保つ
 □ フリックすると次の画像を表示して止まる □ 貼り込み画像はスクロールする方向のみに動きバウンドしない □ 座標位置は縦置きサイズで指定する □ 画像が縦スクロールするときは右サイドにバーを表示する □ スクロールがあるときのバーは表示した後消滅する □ 横置きにしたときボックスサイズを 1.33 倍し比率を保つ
 □ 貼り込み画像はスクロールする方向のみに動きバウンドしない □ 座標位置は縦置きサイズで指定する □ 画像が縦スクロールするときは右サイドにバーを表示する □ スクロールがあるときのバーは表示した後消滅する □ 横置きにしたときボックスサイズを 1.33 倍し比率を保つ
 □ 座標位置は縦置きサイズで指定する □ 画像が縦スクロールするときは右サイドにバーを表示する □ スクロールがあるときのバーは表示した後消滅する □ 横置きにしたときボックスサイズを 1.33 倍し比率を保つ
□ 画像が縦スクロールするときは右サイドにバーを表示する□ スクロールがあるときのバーは表示した後消滅する□ 横置きにしたときボックスサイズを 1.33 倍し比率を保つ
□ スクロールがあるときのバーは表示した後消滅する □ 横置きにしたときボックスサイズを 1.33 倍し比率を保つ
□ 横置きにしたときボックスサイズを 1.33 倍し比率を保つ
□ 座標位置はシミュレータでは色つきで表示し、実機では透明にする
* フリック型は1つのウィンドウに複数の同じサイズの画像を複数指定し、フリックすると次の画 * フリック型は1つのウィンドウに複数の同じサイズの画像を複数指定し、フリックすると次の画 像が表示されます。左右にスクロールして表示します。ウィンドウサイズと画像のサイズは同じ大きさ ――にします。

4、拡大画像を貼り込む

ページ上の指定した位置をタップすると、別ウィンドウで画像を表示する機能です。iPad の解像度で表示し、ピクセル数が大きい場合は全体表示します。 画像はピンチアウト、ピンチイン、スクロールして操作できます。

□ PDF は左右に合わせたサイズで変倍して貼り込む

□ 画像する解像度は iPad の 768 × 1024 ピクセル
□ 天に合わせて表示し、地方向はスクロールして表示
□ 貼り込む PDF は左右にバウンドせずに地方向のみにスクロールする
□ PDF がスクロールするときは右サイドにバーを表示する
□ スクロールがあるときのバーは表示した後消滅する
□ 横回転しても同じように左右に合わせたサイズで表示する
* 貼り込む PDF が小さい場合、横幅が 768 ピクセルになるように拡大した画像に変換して表示します。PDF が大きい場合、元のピクセルサイズのまま画像に変換し、横幅が 768 ピクセルになるように縮小表示します。元の PDF が小さい場合は、ピンチインしても拡大表示しません。

5、動画を挿入して表示する

ページ上の指定した位置をタップすると、別ウィンドウで動画を表示再生する機能です。Xcode に動画を取り込んで、ページと位置とボックスサイズ、動画ファイル名を指定します。iPad の横幅に合わせて動画を表示再生します。

	□ ページと座標位置とボックスを指定する
	□ 指定したボックス位置をタッチすると別ウインドウで動画を表示
	□ 動画のフォーマットは mp4 形式
	□ 動画は画面の左右に合わせてセンターで表示
	□ [完了] もしくは [Done] でページに戻る
	□ 座標位置はシミュレータでは色つきで表示し、実機では透明にする

6、目次を指定する

目次はCSVファイルでページ番号と目次レベル、目次テキストを指定します。ツールバーのテキスト目次に目次テキストが反映されます。サムネイル画像はツールバーのサムネイル目次でサムネイルウィンドウに表示されます。

ページ番号と目次レベルと目次テキストで目次を作成
 目次レベルはテキスト目次にインデントして反映
サムネイル用の目次画像は別途作成して取り込む
 サムネイル目次で指定ページのサムネイル画像を表示

フ、ツールバーの表示

画面の下端をタップするとツールバーが表示されます。ツールバーのアイコンは ファイルを差し替えることでカスタマイズできます。

□ 画面の下端に、ツールバーを表示する	
□ トップページへのリンク	
□ 目次ページへのリンク	
□ サムネイル目次へのリンク	
□ テキスト目次へのリンク	
□ しおりの追加と保存したしおりの表示	
□ インフォーメーションリンク (Web リンク)	
□ ヘルプページのリンク(Web リンク)	
□ 横置きにしても同じように表示する	

8、追加予定機能

追加予定の機能です。現在は実装されていません。マーカーはマーカー追加モードにしてページ上の任意の位置にマーカーを追加する機能です。ページジャンプは指定したボックス位置をタップすると、指定ページにジャンプする機能です。

マーカーの追加

- **■** ナビゲーションバーにマーカーボタン
- マーカーボタンをタッチでマーカー・モードに移行する
- マーカー・モードでは、画面スクロールはしない

(タッチでマーカー描画)

- マーカー・モードで [完了] もしくは [Done] でページに戻る
- マーカーはタッチもしくはフリックで追加する
- マーカーの太さや色は固定で変更付加

ページジャンプ

- ページと座標位置を指定して別のページにジャンプする
- リンク先のページはデフォルトサイズで表示する
- ジャンプした後ジャンプ元に戻れない